

全中道研会報

令和8年1月15日(第3号)
全日本中学校道德教育研究会
<https://www15.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1350010>



第59回 岐阜大会報告

岐阜県小中学校教育研究会道德部会長
北川 真司

令和7年11月27日(木)、28(金)日に、第59回全日本中学校道德教育研究大会岐阜大会を岐阜市立長良中学校、ホテルグランヴェール岐山にて開催しました。当日は、全国各地より多くの皆様にご参加いただき、盛会のうちに無事終えることができました。第59回を迎える本研究大会ではありますが、岐阜県としては、初めてとなる開催でした。初めて故、全く先が見えない中、微に入り細に渡り、お心遣いいただきました全中道の役員・顧問・理事の皆様、前回の神奈川大会実行委員長を務められた山川俊英校長先生はじめ、開催に向けてご尽力ご助言くださいましたすべての皆様に深く感謝申し上げます。

1日目は、岐阜市立長良中学校において、特別の教科 道德の公開授業を行ないました。長良中学校では、丸山早苗校長先生のリーダーシップのもと、「自他ともによりよい生き方を求め、実践する生徒を育てる道德教育はどうあるべきか」を追い求め、「考え、議論する道德」の具現に向け、日々、授業実践を積んでまいりました。



コロナ禍では困難であった「人と人が同じ空間で、相手の言葉だけでなく表情・仕草や態度から、その人の感じ方や考え方を推し量り、感じ取り、互いに学びを深める」道德の授業を、全国の皆様に参観いただきました。その後の研究討議では、長良中学校の道德科の授業実践をもとに、活発な意見交換がなされ、参加された皆様の深い学びとなりました。



2日目は、ホテルグランヴェール岐山を会場に開会行事・基調提案・課題別分科会・指導講話・閉会行事を行いました。開会行事のあとに、岐阜県小中学校教育研究会道德部会研究推進委員長 鹿野真末教頭による大会主題を具現するための研究内容や研究実践の取組の基調提案を行いました。その後、課題別分科会を、5つの会場に分かれて、それぞれ2つずつご提案いただきました。それぞれの分科会において、全国各地の学校、先生方が積み重ねられた貴重な実践をもとに、ご参加いただいた皆様で「自他ともによりよい生き方を求め、実践する生徒を育てる道德教育はどうあるべきか」について、主体的に考え、議論することで「主体的・対話的で深い学び」となりました。

午後は、国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 大平剛生 先生より「道德教育の一層の充実・発展に向

けて」と題して、本大会を総括する指導講話をいただきました。大平調査官からは、道徳の時間が「特別の教科 道徳」として教科化されたことによる成果として量的な確保が進んだ一方、教師の意識が高まったことにより、具体的な指導に困り感をもつ教師がいるというお話や、道徳教育が果たすべき役割は、いかに時代が変わっても変わらない不易な部分があり、生徒同士や生徒と教師が共に語り合い、道徳的課題を語り合っていくことが重要であるというお話がありました。また、文部科学省ホームページにも公開されている資料を基に『『考え、議論する道徳』の実装』の議論についてもお話いただきました。さらには、今後の道徳教育・道徳科の方向性を交えながら、柔軟な教育課程の実施や今すぐにでも実践に繋がる道徳科の内容について、分かりやすく講話をなさってくださいました。

本大会では、今後も本研究会のますますの発展と、本研究大会の持続可能な大会運営、また教職員の働き方改革を意識し、より実践的な大会運営を目指しました。今後の大会運営に少なからず参考になりましたら幸いです。

結びになりますが、本大会開催にあたりましてご指導を賜りました国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 大平剛生先生をはじめ、岐阜県教育委員会、岐阜市教育委員会、岐阜県の各市町村の教育委員会、ご支援賜りました公益財団法人上廣倫理財団、公益財団法人石橋財団、公益財団法人日本教育公務員弘済会岐阜支部ほか関係された各種団体の皆様に心より感謝申し上げます。



ブロック大会北海道大会報告

北海道道徳教育研究会長 三上 寛晃

1 大会主題

自己理解を深め、よりよい生き方を自ら考え続ける児童・生徒の育成

～主体的に道徳的問題を見出す学び～

2 期日

令和7年10月31日(金)～11月1日(土)

3 会場並びに開催形態

(1) 会場

◇授業分科会

札幌市立真栄中学校

◇課題別分科会

ホテル ライフォート札幌

◇記念講演

ホテル ライフォート札幌

(2) 開催形態

参集方式、ハイブリッド形式

4 課題別分科会

第1分科会

「道徳教育の指導計画や指導体制の充実」

・提案者

帯広市立翔陽中学校 教諭 神下 智行

・助言者

函館市立港中学校 校長 白川 卓

第2分科会

「道徳科の特質を生かした指導方法の工夫、教材の活用について」

・提案者

旭川市立旭川中学校 教諭 只石 良太

・助言者

遠軽町立東小学校 校長 長谷 博文

第3分科会

「道徳科と他の教育活動との関連」

・提案者

日高町立日高中学校 教諭 佐々木 航汰

・助言者

遠別町立遠別小学校 校長 加納 克則

第4分科会

「今日的な課題・地域性等を生かした道德教育」

・提案者

旭川市立北星中学校 教諭 今村 恭子

・助言者

芦別市立芦別中学校 校長 丹那 暢仁

第5分科会

「指導と評価の一体化に向けた工夫」

・提案者

函館市立港中学校 教諭 穴田 晃一

・助言者

島牧村立島牧中学校 校長 梶原 大

5 公開授業

第1学年

A5【真理の探究】

「農業王国・十勝の第一歩を築いた先駆者
依田 勉三～」

・授業者

札幌市立真栄中学校 教諭 遠藤 翔太

・助言者

札幌市教育委員会 指導主事 大橋 巧 氏

第2学年

A1【自主、自律、自由と責任】

「手品師」

・授業者

札幌市立登寒中学校 教諭 足立あかね

・助言者

北海道立研究所 主査 井上 結香子 氏

6 記念講演

演題

「児童・生徒が自己理解を深め、よりよい生
き方を自ら考え続ける道德教育を目指して」

講師

文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調
査官

国立教育政策研究所教育課程研究センター研
究開発部教育課程調査官

堀田 竜次 氏



ブロック大会東北大会報告

東北地区中学校道德教育研究会長 田中 寛

1 大会主題

道德的価値の理解を深め、よりよく生きよ
うとする児童生徒の育成～主体的・対話的で
深い学びを支える9つの視点～

2 期日

令和7年10月24日（金）

3 会場並びに開催形態

（1）会場 大館市立田代中学校

（2）開催形態 完全参集型

4 公開授業

第1分科会 2学年

A3【向上心、個性の伸長】

「嫌われるのを恐れる気持ち」

・授業者

大館市立東中学校 教諭 野呂 史織

・助言者

北教育事務所主任指導主事 佐藤 孝子

第2分科会 3学年

D22【よりよく生きる喜び】

「足袋の季節」

・授業者

大館市立第一中学校 教諭 伊藤 桃夏

・助言者

北教育事務所指導主事 田森 舞

第3分科会 9学年

A4【希望と勇気、克己と強い意志】

「私の再出発」

・授業者

北秋田市立義務教育学校阿仁学園

教諭 宮崎 恭輔

・助言者

総合教育センター主任指導主事 伊藤 文子

5 課題別分科会

第1分科会

テーマ：道德科の授業づくりの工夫

山形県

「主体的に学びに向かう生徒の育成のための

道徳授業」

・提案者

東根市立神町中学校 教諭 川越 一法

・助言者

東根市教育委員会 指導主事 門脇 明人
宮城県

「心を揺さぶる発問の吟味」

・提案者

仙台市立愛宕中学校 教諭 相澤 伊織

・助言者

仙台市立鶴谷中学校 校長 清野 智子

第2分科会

テーマ：道徳教育を推進する指導体制の在り方
青森県

「道徳教育を推進する指導体制の在り方」

・提案者

深浦町立深浦中学校 教諭 木村 友紀

・助言者

八戸市立長者中学校 校長 松倉 知秀
岩手県

「自己の生き方を考え、心豊かに人生を幸せ
に歩もうとする生徒の育成」

・提案者

盛岡市立上田中学校 教諭 山田 将之

・助言者

盛岡市立厨川中学校 指導教諭 及川 仁美

6 記念講演

演題

「道徳科の特質を生かした学習指導の推進・
充実」

講師

文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調
査官

国立教育政策研究所教育課程研究センター研
究開発部教育課程調査官

堀田 竜次 氏

講演では、道徳科の特質を踏まえた学習指
導の在り方について、公開授業との関連を交
えながら具体的かつ分かりやすくご説明いた
だき、有意義な学びの機会となった。

関東甲信越ブロック大会山梨大会報告

山梨県道徳教育研究会長 加藤 忍

1 大会主題

『多様化、個別化する社会の中で、ともに考
え、よりよく生きる力を育む道徳教育』

2 期日

令和7年10月24日（金）

3 会場並びに開催形態

(1) 会場

◇配信会場

やまなし地域づくり交流センター

(2) 開催形態

オンライン形式

4 課題別分科会(紙上提案)

第1分科会

「地域・社会とともにある道徳教育」

・提案者

前南部町立富沢小学校 校長 高野真一

深谷市立幡羅中学校 教諭 鴻野光伸

第2分科会

「道徳における評価の工夫」

・提案者

取手市立永山中学校 教諭 倉持雄大

佐野市立西中学校 教諭 佐々木洋子

第3分科会

「ICTを活用した道徳の授業」

・提案者

山梨市立山梨南中学校 教諭 内田晴奈

鎌ヶ谷市立第三中学校 教諭 國友義昭

第4分科会

「ウェルビーイングを目指した道徳の授業」

・提案者

杉並区立泉南中学校 教諭 金子太翼

前橋市立粕川中学校 教諭 瀬戸山千穂



5 授業研究（オンデマンド配信）

提案授業①

C-10 【遵法精神，公德心】

「ごみ収集場所をどこに」

- ・授業提供：甲府市立西中学校
- ・授業者
教諭 茅野 峻治
- ・助言者
甲府市教育委員会 指導主事 山田 睦子

提案授業②

C-10 【遵法精神，公德心】

「二通の手紙」

- ・授業提供：北杜市立須玉中学校
- ・授業者
教諭 神山 祥
- ・助言者
山梨県総合教育センター 相談支援センター
センター長 田中 一弘

提案授業③

C-14 【家族愛，家庭生活の充実】

「あの日 生まれた命」

- ・授業提供：西桂町立西桂中学校
- ・授業者
教諭 赤池 由莉亜
- ・助言者
山梨南中学校 教頭 坂本 伸也

6 記念講演

演題

「道德教育のさらなる改善・充実を目指して」

講師

文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官
国立教育施策研究所教育課程研究センター教育課程調査官
大平 剛生 氏

ブロック大会近畿大会報告

近畿中学校道德教育研究会長 蔦 亜紀朗

1 大会主題

『主体的・対話的で深い学び』と『存在の建設』
～考え議論することを通して、自己の生き方についての考えを深める道德教育～

2 期日

令和7年11月21日（金）

3 会場並びに開催形態

- （1）会場 千早赤阪村立中学校, すばるホール
- （2）開催形態 参集方式

4 分散会

○第1分散会

【大阪府】提案者

千早赤阪村立中学校教諭 木村 大地
太子町立中学校教諭 川中 翔太
河南町立中学校教諭 青山 壮

【大阪府】助言者

河南町教育委員会教・育部
副理事 柏木 俊介

【京都府】提案者

舞鶴市立和田中学校教諭 井上 侑
舞鶴市立和田中学校教諭 高木 友樹

【京都府】助言者

京都府総合教育センター
研究主事兼指導主事 中村 香奈子

○第2分散会

【兵庫県】提案者

三田市立けやき台中学校教諭 橋口 智彦

【兵庫県】助言者

兵庫教育大学道德教育研究開発センター
上廣道德教育アカデミー
特任准教授 下野 厚子 氏

【奈良県】提案者

葛城市立新庄中学校教諭 新明 郁実

【奈良県】助言者

北葛城郡王寺町立王寺北義務教育学校
校長 荒木 篤人

○第3分散会

【滋賀県】提案者

米原市立双葉中学校校長 澤田 隆文

【滋賀県】助言者

滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課
指導主事 野々村 愛子

【和歌山県】提案者

紀の川市立粉河中学校教諭 仲井 義人

【和歌山県】助言者

和歌山県教育庁紀南教育事務所
指導主事 龍田 俊樹

5 公開授業

◇太子町立中学校 1 学年 (録画公開)

B 7 【礼儀】

『『愛情貯金』をはじめませんか』

- ・授業者 松本 力也

◇河南町立中学校 1 学年 (録画公開)

B 6 【思いやり、感謝】

「バスと赤ちゃん」

- ・授業者 村岡 将史

◆千早赤阪村立中学校 1 学年

B 6 【思いやり、感謝】

「バスと赤ちゃん」

- ・授業者 後藤 吉幸

◆千早赤阪村立中学校 2 学年

D 2 2 【よりよく生きる喜び】

「銀色のシャープペンシル」

- ・授業者 中 野 哲

◆千早赤阪村立中学校 3 学年

C 1 0 【遵法精神、公德心】

「二通の手紙」

- ・授業者 植野 裕章

6 指導講評

大阪大谷大学教育学部特任教授

教職教育センター長 岩井 晃子 氏

7 記念講演

演題

『『主体的・対話的で深い学び』と『存在の建設』
～考え議論することを通して、自己の生き
方についての考えを深める道德教育～

講師 大阪大谷大学教育学部特任教授

教職教育センター長 岩井 晃子 氏

兵庫教育大学道德教育研究開発センター

上廣道德教育アカデミー

特任准教授 下野 厚子 氏

ブロック大会広島大会報告

中国地区道德教育研究会長 片山 新

1 大会主題

主体性を育む道德教育と深い学びの創造
～各教科の対話的な学びを促進する指導法の工
夫を通して～

2 期日

令和7年11月7日(金)

3 会場並びに開催形態

(1) 会場 尾道市立向東中学校

(2) 開催形態

参集型(課題別分科会は紙上提案)

4 公開授業

第1分科会 1 学年

D 2 0 【自然愛護】

「ぼくらの村の未来」

- ・授業者

尾道市立向東中学校 教諭 子川 春子

- ・助言者

広島県立教育センター指導主事 松野 志保

第2分科会 2 学年

A 1 【自主、自律、自由と責任】

「あの子のランドセル」

- ・授業者

尾道市立向東中学校 教諭 村上 友一

- ・助言者

広島県教育委員会東部教育事務所

指導主事 津森 佑平

第3分科会 3 学年

C 1 0 【遵法精神、公德心】

「缶コーヒー」

- ・授業者

尾道市立向東中学校 教諭 槇野 太洋

- ・助言者

広島県教育委員会西部教育事務所

指導主事 安東 祐介

5 課題別分科会

第1分科会

「道德教育を推進する指導体制の在り方」

- ・提案者
広島市立口田中学校 教諭 盛崎 直子
下関市立日新中学校 教諭 高橋 敬和

第2分科会

「多様な方法を取り入れた道徳科の工夫」

- ・提案者
大竹市立小方中学校 教諭 新宅 佳奈美
浅口市立鴨方中学校 教諭 青木 智子

第3分科会

「現代的な課題に応じた道徳科の工夫」

- ・提案者
竹原市立賀茂川中学校 教諭 今田 真由子
鳥取市中学校教育振興会道徳部会
教諭 木村 信一郎
教諭 吉澤 直駿

第4分科会

「道徳科における指導と評価の在り方」

- ・提案者
安芸高田市立八千代中学校 教諭 金行俊輔
安芸高田市立向原中学校 教諭 山本 尚輝
益田市立中西中学校 教諭 松本 麻里
教諭 伊竹 匠

6 記念講演

演題

「ともに学び合う道徳科を要とした道徳教育の推進・充実～地域に生きる学校づくりを基盤に～」

講師

香川大学大学院 教育学研究科
高度教職実践専攻 教授 植田 和也 氏

公開授業では、考え議論する道徳を対話的な学びを中心にしたホワイトボードの活用や座席の工夫、「深めたいワード」等を活用し、生徒が多面的・多角的な視点から考えられるような提案がされた。

講演では、授業公開や分科会、研究報告をふまえて、理論的な価値づけをされ、とても分かりやすくお話をしていただいた。

ブロック大会九州大会報告

九州地区道徳教育研究協議会長 湊 正

1 大会主題

ウェルビーイングの向上をめざした道徳教育の充実 ～地域とのつながりを生かし、自己肯定感を高める授業づくりを通して～

2 期日

令和7年10月3日（金）

3 会場並びに開催形態

（1）会場

◇記念講演・課題別分科会

鹿児島市喜入公民館

◇公開授業・授業研究会・指導講話

鹿児島市立喜入中学校

（2）開催形態

参集方式

4 課題別分科会

第1分科会

『『考え、議論する』道徳科の授業づくり』

・提案者【長崎県】

西海市立西海中学校 教諭 森林美和

【鹿児島県】

始良市教育委員会 指導主事 長藺 誠

・助言者【鹿児島県】

総合教育センター 研究主事 河野隆啓

第2分科会

「道徳教育推進教師を中心とした道徳教育の展開」

・提案者【福岡県】

みやこ町立犀川中学校 教諭 川村隆弘

提案者【鹿児島県】

南さつま市立金峰学園 教諭 西村優子

・助言者【鹿児島県】

総合教育センター 研究主事 北原深志

第3分科会

「学校教育目標を具現化するための多様な道徳教育の展開」

・提案者【沖縄県】

大宜味村立大宜味中学校 教諭 與那嶺勤子

提案者【鹿児島県】

志布志市立伊崎田中学校 校長 山端真規子

・助言者【鹿児島県】

教育庁義務教育課 指導主事 岩重智美

5 公開授業

【2学年】

B 6 【思いやり, 感謝】

「夜のくだもの屋」

・授業者

鹿児島市立喜入中学校 教諭 中川麻美

・助言者

鹿児島市教育委員会学校教育課

指導主事 前之園礼央

【3学年】

C 1 2 【社会参画, 公共の精神】

「住み続けられるまちづくりを」

・授業者

鹿児島市立喜入中学校 教諭 露口宗博

・助言者

鹿児島市教育委員会学校教育課

指導主事 安樂朋陽

6 記念講演

演題

「ウェルビーイングの向上を目指した道徳教育の充実」

講師

文部科学省初等中等教育課程教科調査官,
国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官 堀田竜次 氏

公開授業では、自己肯定感を高める授業のための視点についての提案と、活発な協議が行われた。また、分科会では各学校の特色を活かした取組が報告された。

講演では、生徒が主体的に道徳性を養うための指導の在り方を実践と関連付けて分かりやすく解説していただいた。

第3回役員・理事会報告

令和7年11月27日(水) グランヴェール岐山を会場に、全日本中学校道徳教育研究会の役員・理事会(第3回)が行われました。当日はZOOMを活用したハイブリッド型で開催し、多くの役員・理事の方々にご参加いただきました。

(1) 全日本中学校道徳教育研究会会長挨拶

会長 加藤 敏久

皆様、こんばんは。本日は全日本中学校道徳教育研究会 役員・理事会にご多用にもかかわらずご参加いただき、誠にありがとうございます。全国大会岐阜大会一日目ということで、全国各地からお越しになった皆様と、岐阜市立長良中学校の生徒と先生方による素晴らしい授業を共有することができましたこと、たいへん嬉しく思います。オンラインでご参加の皆様もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、次期学習指導要領のためのワーキンググループが始まりました。すでにインターネットで、「道徳教育に関する現状、課題と検討事項」などの資料をご覧になっている方も多いことと思います。キーワードは「考え、議論する道徳の実装」のようです。詳しくは明日の講演で文部科学省教科調査官の大平剛生先生からお話があるかもしれませんが、これからの時代の道徳教育について、この岐阜大会から多くを学び、お土産にしていきたいと思います。

最後になりますが、全中道研顧問の皆様、そして何より岐阜大会の開催にあたり、ご尽力いただきました岐阜県小中学校教育研究会道徳部会会長 北川真司様、全中道研究大会岐阜大会実行委員長 中川秀一様、長良中学校長 丸山早苗様をはじめ、岐阜県の関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。それでは本日の役員・理事会、どうぞよろしくお願いいたします。

また明日の研究大会二日目も素晴らしいものにしてまいりたいと思っております。明日もよろしくお願いいたします。

(2) 来賓紹介、来賓挨拶

全中道研顧問 鈴木 明雄 様、賞雅 技子 様、
菅野由紀子 様、月田 行俊 様、
木村 知広 様

(3) 功労者表彰について【審議】

各地区からご推薦いただいた2名の方を全員
賛成で承認されました。

- ・東京都 木村 知広 様
- ・千葉県 大舘 昭彦 様



(4) 今後の全国大会予定について

- 令和8年度 東京大会
令和8年11月5日(木)、6日(金)
板橋区立赤塚第二中学校
板橋区立文化会館大ホール
- 令和9年度 奈良大会
大和郡山市を予定しています
- 令和10年度 愛媛大会
松山市立勝山中学校を予定しています。
- 令和11年度 島根大会

(5) 今後の関東甲信越大会予定について

- 令和8年度 東京大会
・日程、会場は同上
- 令和9年度 茨城大会
- ※北海道、東北、東京、東海北陸、近畿、中
国、四国、九州の大会情報は、全中道研ホー
ムページに掲載します。

(6) 次年度以降の各ブロック大会予定

- ア 北海道〔毎年開催〕R8 釧路 / R9 空知
- イ 東 北〔毎年開催〕R8 青森 / R9 休会
/ R10 山形 / R11 宮城 / R12 秋田
/ R13 岩手 / R14 青森 / R15 休会

ウ 東 京〔毎年開催〕R8 東京 / R9 東京
エ 東海北陸〔全国開催〕未定

オ 近 畿〔毎年開催〕R8 京都 / R9 奈良
/ R10 滋賀 / R11 兵庫 / R12 和歌山
カ 中 国〔隔年開催〕R 鳥取 / R11 島根
キ 四 国〔隔年開催〕R8 香川 / R10 愛媛
ク 九 州〔隔年開催〕R9 熊本 / R12 長崎

(7) 事務局より

ア令和8年度道德教育推進教師養成講座の
参加者推薦について(定員40名を予定)

- ・次年度も模擬授業を行う形式で実施予定
ですので多くの先生方をご推薦ください。
- ・併せて若手教員研修も検討中です。

イ令和7年度会費(分担金)納入について

- ・ご協力ありがとうございました。領収書
は送付済です。ご確認ください。

ウ令和7年度道德教育助成金報告書について

- ・年度末までにご提出ください。

エ各ブロック大会等の広報について

- ・事務局までご報告をお願いします。

(8) 今後の予定

① 次回の予定

第3回役員・理事会：ハイブリッド開催
日時：令和8年2月28日(土)
会場：上廣倫理財団UFホール
※当日は、関中道研役員・理事会、全中道
研副会長会も開催します。開始時間や
ZOOM等については、開催案内をご
確認ください。

② 次年度の予定

令和8年度 役員・理事会の予定

- ・第1回：令和8年7月4日(土)
会場：上廣倫理財団UFホール
- ・第2回：令和8年11月5日(木)
会場：板橋区立赤塚第二中学校
- ・第3回：令和9年2月27日(土)
会場：上廣倫理財団UFホール

令和8年度 道德教育推進教師育成講座

- ・令和8年8月1日(土)2日(日)
会場：上廣倫理財団UFホール

編集後記

全中道研顧問 18代会長 津田知充先生より9月にお手紙をいただきました。

津田先生は、令和7年会報第1号の加藤敏久会長の巻頭言をお読みになり、これからの道德教育のあり方を感じ取ることができたことや、先生の道德教育への思いをお手紙にて述べられました。たいへん僭越ですが、本紙面でご紹介させていただきます。

○情報化やグローバル化、価値観の多様化といった社会の変化に、子どもの前に立つ教師がどう対応していこうとしているかという指針が示せると、道德教育の成果に大きな影響を与えるのではないかと考えます。

○地域と連携した道德教育では、教師が地域の実情をどれだけ知っているか、です。子どもとのかかわりだけではいかなものかと思います。子どもや保護者を通して知っている、ということでは、教科だけの教師のように思います。

○生成AIがどれだけ進化しても人間ではない、人間の脳にはなれないということです。

道德教育は人間の心のはたらきを理解させた上で、人間として如何に生きるべきかを深く探求していく学問です。心に指導できる教師を一人でも多く輩出したいものです。

お手紙の内容は、岐阜大会のレセプションで加藤会長から参加された方々に紹介されました。本会をこのように見守ってくださっていることに心より感謝を申し上げます。津田先生、ありがとうございました。